No.10　横須賀市立武山中学校

学校だより

【学校教育目標】
ゆたかな心を　育てる学校
「学力　文化　コミュニケーション」

令和2年9月 18 日
発行　校長　佐藤昌俊

３年間の思い込めて、３年生交流試合行われる

新型コロナウィルス感染症の拡大により、春の横須賀市中学校総合体育大会及び夏の神奈川県中学校総合体育大会(所謂、県大会)・地区予選など、多くの種目が中止となり、各部員、特に３年生にとってはとても悔しい状況となってしまいました。「少しでもこれまで培ってきた練習の成果を発揮できる機会を」という願いのもと、市から県、関東・全国へとつながる試合ではありませんが、各種目で「３年生交流試合」が企画され、10 月にかけて実施されています。

この３年生交流試合を私と教頭とで分担して、応援しに行きました。同時に複数の種目で試合があり、試合を最初から最後まで見ることができませんでしたが、３年生のひたむきに、競技に向かう姿が見られて、とても誇らしく思いました。一人一人の思いは様々だと思いますが、このコロナ過にあっても３年間苦楽を共にした仲間と試合に臨めたことが、一つの思い出となってくれればと願うばかりです。

試合会場を回っていると、逆にこちらが励まされたり、勇気づけられることもあります。私がベンチに座っても大した応援にはなりませんが、それでもその場を私が離れるとき、「校長先生、ありがとうございました」と感謝の言葉をかけてくれます。また、次の日に学校で会ったときに声をかけてくれる生徒、わざわざ私に伝えに来てくれる生徒たちもいました。本当にうれしいことです。感謝の気持ちを素直に伝えられるところは、本校の生徒の素晴らしいところです。「３年生交流試合」が終わり、２年生、１年生にバトンタッチして、新たなスタートを切った部活動も出てきました。

この秋に多くの種目で行われる「新人戦」も行われるようになってきました。少しずつではありますが、以前のような活動ができるようになってきたと感じています。３年生の背中を見て学んできた２年生が、先輩の思いを受け継ぎ、それぞれの部活動を担う時期になってきたということです。まだまだ制限がある中の活動ですが、この状況を上手に受け取りつつ、自らの力を、チームとしての力を高めるべく、仲間と共に練習に取り組んでほしいと思います。また、現状では発表の機会がなかなか作れていない文化部ですが、何かしらの機会が持てればと思っています。

お心遣いに感謝

先日、正門の脇に一つのメモと「レッドオニキス」という花(苗)がそっと置いてありました。メモには「もしよかったら植えてみてください。」と書かれていました。お言葉に甘えて学校の花壇に植えさせていただきました。PTA 保健委員会の皆さんが委員会の活動として花壇の整備に来られた時に一緒に植えてもらいました。学校環境に安らぎと潤いがさらにプラスされました。ご寄付いただいた方、保健委員会の皆様、ありがとうございます。